

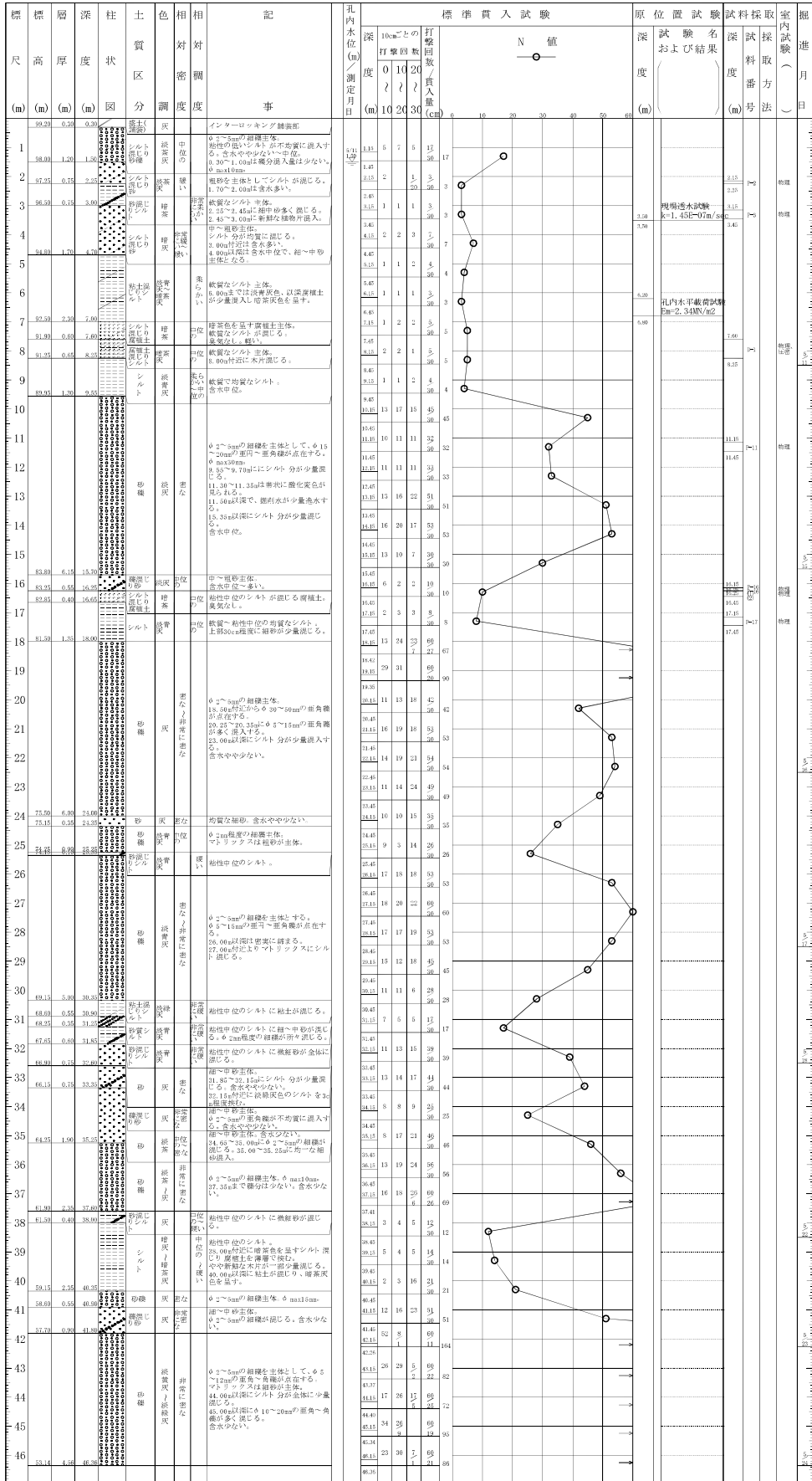
ボーリング柱状図

調査名 令和4年度-委第44号 野洲市民病院整備地質調査業務委託

ボーリング No. 1

事業・工事名

ボーリング名	No. 1	調査位置	滋賀県野洲市富波甲	北緯	35° 5' 18.7"
発注機関	市立野洲病院新病院整備課	調査期間	令和 5年 5月 11日 ~ 5年 5月 26日	東経	136° 1' 47.8"
調査業者名	株式会社西日本探検コンサルタント (077-562-4952)	主任技師		コ	ア
孔口標高	99.50m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 90° 東
総掘進長	46.36m	度	180° 上 90° 下	地盤勾配	約 1/100
		使用機種	D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
		エンジン	TF90V-E	ポンプ	BG-3B






ボーリング柱状図

調 査 名 令和4年度-委第44号 野洲市民病院整備地質調査業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 2		調査位置		滋賀県野洲市富波甲				北 緯	35° 5' 19.9"		
発 注 機 関	市立野洲病院新病院整備課				調査期間	令和 5年 5月 15日 ~ 5年 5月 23日				東 経	136° 1' 47.3"	
調査業者名	株式会社西日本技術コンサルタント 電話 (077-562-4952)		主任技師		現代 場 代 理 人	コ ア ロ 定 者		ボーリング 責任 者				
孔 口 標 高	99.86m	角 	方 	地盤 勾配 	使用 機種	D-O-D		ハンマー 落下用具	半自動落下装置			
総掘進長	38.17m	度	向	エンジン	TF90V-E		ポン プ	BG-3B				

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 令和4年度-委第44号 野洲市民病院整備地質調査業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 3		調査位置		滋賀県野洲市富波甲				北緯 35° 5' 20.2"	
発注機関	市立野洲病院新病院整備課				調査期間		令和 5 年 4 月 17 日 ~ 5 年 5 月 9 日		東経 136° 1' 46.3"	
調査業者名	株式会社西日本技術コンサルタント 電話 (077-562-4592)		主任技師		現場代理人		鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	99.98m	角 180° 上 90° 下 0°	方 37° 北 180° 西 90° 東	地盤勾配 水平 0° 90° 直	使用機種	試錐機 D0-D		ハンマー落下用具 半自動落下装置		
総掘進長	38.40m	度	向	エンジン	TF90V-E		ポンプ		BG-3B	

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	記載事項	標準貫入試験				原位置試験		室内試験採取方法	掘進月日			
								深 度 (m) 測定月日	100mmごとの 打撃回数	打撃回数/ 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果			深 度 (m)	試験番号	
1	0.99	0.40	0.50	シルト質砂礫	茶褐色		軟質なシルト主体。 φ 2~15mmの角〜亜角礫が存在する。	4.17 1.0	1.10	1	2	1	4	現場透水試験 k=9.33E-08m/sec	3.00	物理 試験 (透水性、三軸)		
2								1.40 2.13	1	2	1	3	4		3.00			3.08 3.70
3	0.86	3.20	3.60					2.45 3.15	1	1	1	3	3		4.60			
4	0.95	1.00	4.60					3.45 4.15	1	2	1	3	4		5.70			
5								4.45 5.15	1	1	1	3	3		6.30			
6				シルト	淡青灰		軟質で均質なシルト。 φ 5mm付近に新鮮な木片が混じる。 微細砂が少量混入する。 7.70~8.60mに有機質土が不均質に 少量混じる。植物片が混じる。 9.30~10.00mに細砂が混じる。 10.65~10.90mにφ 2mm程度の細礫混 入する。 全体的に含水中位。	6.45 6.15	1	1	1	3	3	7.00		物理 試験 (透水性、三軸)		
7								7.45 8.15	1	1	2	3	4	8.00				
8								8.45 9.15	1	1	2	3	4					
9								9.45 10.15	1	1	1	3	3					
10								10.40 11.10	19	20	20	59	59					
11	0.89	6.30	10.50	砂礫	灰	密な /非常に密な	φ 2~5mmの細砂を主体として、φ 5 ~15mmの重円〜亜角礫が存在する。 11.40~11.90mにφ 90mm程度の玉石 混入する。 12.00~12.10mに淡青灰色を呈す粘 土中位のシルトを挟む。 12.10~13.00mまで中〜粗砂が多く 混入する。 14.15m付近φ 20~30mmの重円〜亜角 礫が存在する。 15.00m以降の中〜粗砂が多く混入す る。 全体的に掘削水が逸水する。	11.40 12.15	11	11	13	35	35	12.15		物理		
12								12.45 13.15	16	19	18	53	53	12.45				
13								13.45 14.15	25	19	16	69	62					
14								14.40 15.10	14	13	13	49	40					
15								15.40 16.10	2	2	3	7	7					
16	0.83	5.20	16.10	シルト	茶灰・淡青灰	中位の /強い	粘性の低い〜中位のシルト主体。 16.70m以降は有機質土が少量混入 する。 18.00m付近に微細砂が混入する。 19.00m付近にやや新鮮な植物片が混 入する。 19.70m以降に細〜中砂が少量混入 する。 20.40~20.80mまで中〜粗砂が混入 する。	16.40 17.10	2	2	3	7	7	15.90		物理 試験 (透水性、三軸)		
17								17.45 18.15	2	3	4	9	9	17.70				
18								18.40 19.10	2	3	3	8	8					
19								19.45 20.15	2	4	5	11	11					
20								20.40 21.10	15	15	16	46	46					
21	0.79	4.70	20.80	シルトと泥り砂礫	淡青灰	密な /非常に密な	φ 2~10mmの亜角礫を主体として、 φ 10~15mmの中礫が存在する。 22.10m付近にシルトが混入する。 含水は中位。	21.45 22.15	6	12	16	34	34	22.15		物理		
22	0.77	1.70	22.50					22.45 23.15	18	14	15	47	47	22.45				
23								23.45 24.15	18	17	21	59	50					
24								24.45 25.15	7	3	4	14	14	25.15				
25	0.74	2.60	25.10					シルト質砂	暗灰	密な /非常に密な	φ 2~5mmの細砂を主体として、φ 5 ~10mmの重円〜亜角礫が全体に混 入する。 シルト分が少量混入する。 含水少ない。	25.45 26.15	24	20	19			69
26	0.74	0.60	25.70	26.40 27.10	16	18	20					54	54					
27				27.45 28.15	23	23	14					69	72					
28				28.40 29.10	17	16	16					49	49					
29				29.45 30.15	15	11	10					36	36					
30				砂礫	淡青灰	密な /非常に密な	φ 2~5mmの細砂を主体として、φ 5 ~10mmの重円〜亜角礫が存在する。 全体的に含水少なく、非常によく締 まる。 29.25~29.85mの中〜粗砂が多く混 入する。 30.25~30.80mにシルト分が少量混 入する。 31.00m付近よりφ 10~20mmの亜角礫 が存在する。 32.70~32.90mにシルト質砂を挟む。 37.00m以降はφ 2mm程度の細礫主体 となる。 φ 5mm以下	30.45 31.15	17	21	22	69	62	31.15		物理		
31								31.40 32.10	15	14	10	39	39					
32								32.45 33.15	24	23	13	69	72					
33								33.40 34.10	44	29	69	138						
34								34.35 35.05	17	25	18	60	69					
35				砂礫	淡青灰	密な /非常に密な	φ 2~5mmの細砂を主体として、φ 5 ~10mmの重円〜亜角礫が存在する。 全体的に含水少なく、非常によく締 まる。 29.25~29.85mの中〜粗砂が多く混 入する。 30.25~30.80mにシルト分が少量混 入する。 31.00m付近よりφ 10~20mmの亜角礫 が存在する。 32.70~32.90mにシルト質砂を挟む。 37.00m以降はφ 2mm程度の細礫主体 となる。 φ 5mm以下	35.40 36.10	25	27	8	69	78	36.10		物理		
36								36.40 37.10	40	20	5	60	120					
37								37.45 38.15	25	23	15	69	72					
38								38.40										
39	0.61	12.70	38.40															

ボーリング柱状図

調 査 名 令和4年度-委第44号 野洲市民病院整備地質調査業務委託

ボーリング No									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シ-ト No

ボーリング名	No. 4	調査位置	滋賀県野洲市富波甲						北緯	35° 5' 21.1"	
発注機関	市立野洲病院新病院整備課				調査期間	令和 5年 4月 27日 ~ 5年 5月 15日			東経	136° 1' 45.4"	
調査業者名	株式会社西日本技術コンサルタント 電話(077-562-4952)		主任技師			現代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	100.12m	角	180° 上	方	北 0° 270° 90° 西 東	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	D-O-D	ハンマー落下用具
総掘進長	31.35m	度	下 0° 向	西 180°	南			エンジン	TF90V-E	ポンプ	半自動落下装置 BG-3B

[illegible]

ボーリング柱状図

調査名 令和4年度-委第44号 野洲市民病院整備地質調査業務委託

ボーリング No

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 5		調査位置		滋賀県野洲市富波甲						北緯		35° 5' 20.1"	
発注機関	市立野洲病院新病院整備課				調査期間		令和 5 年 5 月 24日 ~ 5 年 5 月 29日				東経		136° 1' 44.8"	
調査業者名	株式会社西日本技術コンサルタント 電話 (0 7 7 - 5 6 2 - 4 9 5 2)		主任技師		現 場 代 理 人		コ ア 鑑 定 者				ボーリング 責 任 者			
孔 口 標 高	99.84m	角	180° 上	90° 方	北 0° 270° 西	90° 東	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	D 0 - D		ハンマー 落下用具	半自動落下装置
総掘進長	31.50m	度	0° 下	0° 向	西 180° 南				エンジン	TF90V-E		ポンプ	BG-3B	

